人間性の探究

K19093　福本光重

先生が最後に仰ったように、無宗教である日本人は「国民」という概念に大きな影響を受けてきていると日々感じる。今回の授業で、ナショナリズムについて知った時、「私、日本人でよかった」というポスターのことを思い出した。ポスターのモデルの女性が日本人でなく、中国人だったという話だが、歴史的、政治的な面から日本という国は、日本人以外の排外意識や純血信仰が強く、「嫌韓反中」のご時世であるので、このような炎上につながったと思った。他にも、バスケ選手の八村塁選手がNBAで活躍している動画をよくYouTubeで見るが、そのコメント欄にも、「黒人だから通用している」「黒人だから素直に応援できない」というコメントをよく見かけ、日本人の民族意識が垣間見えた。ナショナリズムは、こんな限定的な話ではないが、身近に感じるものはこのようなものが思い浮かんだ。

　２１世紀になって、さらにナショナリズムが高まってきたとあるが、日常的にインターネットに触れているので、上記したネガティブな「国民」というのは、自分の中では薄れつつある。国民としてのアイデンティティや愛国心は強まっていくだろうが、ネガティブな排外意識などはインターネットを介してなくっていくと思うし、それを願っている。